

三朝町国民健康保険

三朝町は、鳥取県の中央部に位置し、町土の約9割を占める豊かな山林、「日本一危ない国宝鑑賞」と言われる国宝投入堂を有する三徳山、ラドン含有量世界屈指の三朝温泉を有しており、三徳山と三朝温泉は「六根清浄と六感治癒の地～日本一危ない国宝鑑賞と世界屈指のラドン泉～」というストーリーで、文化庁の日本遺産に認定されています。また、国指定の名勝小鹿溪、国内でも珍しい弦楽器の制作と演奏をテーマにした三朝バイオリン美術館など観光資源に恵まれた町です。

本町の令和2年度の医療費の状況は、男女ともに腎不全の外来医療費と、男性の気管・気管支及び肺の悪性新生物の入院、外来医療費が県平均より高く、一人当たり年間外来医療費は、県内で3番目に高い順位にあります。このことから、医療費の抑制が大きな課題となっています。

三朝町国保の状況（令和3年度）

被保険者数：1,443人
男性：728人 女性：715人
年間医療費 602,872千円
一人当たり医療費 418千円
＊特定健康診査受診率 29.9%
＊特定保健指導実施率 40.9%
＊令和2年度速報値



特定健診受診率向上に向けた取り組み

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、集団健診の実施を制限せざるをえなくなり、受診者数や実施日が大幅に減ってしまったことにより、令和元年度39.0%あった受診率が、令和2年度には29.9%と大きく下がってしまいました。

このことから、受診率の向上が大きな課題となっています。本町では、医療機関健診のほか、各種がん検診と特定健診を一度に受診できる集団健診の実施や、休日健診、みなし健診を実施しています。また、先進的な行動経済理論「ナッジ理論」を活用した複数の勧奨資材を使い、特性別に分類した被保険者へ通知勧奨を実施しています。

集団検診では、地区分けした日程を設定し、新型コロナウイルス感染症の流行による受診行動への影響をできるだけ少なくするよう工夫しています。

また、人間ドックで40歳から70歳までの5歳刻みだった対象年齢を、令和3年度から40歳から73歳までの3歳刻みに拡大しました。これにより、対象者を約1.7倍に広げています。

これまで以上に受診者を増やすことができれば、特定健診の受診率向上にもつながることを期待しています。

健康増進に向けた取り組み

『増やそう“元気” 減らそう“病気”』を合言葉に、町民の健康寿命を延ばすため、保健事業を実施しています。

●運動習慣化（ノルディックウォーク）

誰でも気軽に始められ、運動効果の高いノルディックウォークを推進しています。

特定保健指導対象者の運動習慣の場、町民の元気増進の場として、年6回程度のウォーキング事業を展開しています。ノルディックウォーク指導士資格を持つ理学療法士を講師に招き、ウォーキング指導も実施しています。

●健康相談、生活習慣病予防講演会

集落公民館に定期的に保健師等が出向き、健康相談・健康教育を実施しています。また、集落単位で、医師や薬剤師、理学療法士などによる講演会等も開催しています。

●禁煙講演会

小中学生とその保護者を対象に、禁煙指導医による講演会を各年1回実施しています。児童、生徒だけでなく、保護者も共に学ぶ機会として、参加を促しています。令和2、3年度は新型コロナウイルス感染対策のため、生徒のみの参加でしたが、講演内容を録画配信しました。

健康意識の向上は、健康寿命の延伸と医療費の適正化には欠かせません。このような取り組みを継続していくことで、『笑顔で健康に暮らせる明るい町』を目指しています。

